

予算配分に反映するための評価等について（素案）

《基本的な考え方》

予算配分に反映するための評価については、①「機能強化の方向性に応じた重点支援」、②「学長の裁量による経費に基づく活動等による実績」の大きく二つに分けて評価を実施。

1. 機能強化の方向性に応じた重点支援に係る評価

【取組構想の選定】

（共通の政策課題等）

- ◇ 文部科学省は、高等教育政策等の共通の政策課題に係る支援項目を決定。
- ◇ 各大学は、取組構想を提案するとともに、取組の成果を検証するための測定可能な評価指標（KPI）を設定。
- ◇ 文部科学省は、有識者の意見を踏まえ、取組構想を選定。

（三つの重点支援の枠組み）

- ◇ 三つの枠組みのうち、いずれか一つの枠組みにより、各大学は取組構想を提案。
- ◇ 各大学は、取組の成果を検証するための測定可能な評価指標（KPI）を設定。
- ◇ 文部科学省は、有識者の意見を踏まえ、重点支援を行う取組構想を選定。

【評価手法（進捗状況の確認・実績評価）】

（共通の政策課題等、三つの重点支援の枠組み）

- ◇ 有識者の意見を踏まえつつ、年度ごと（取組構想の内容等により一部複数年）に進捗状況を確認するとともに、あらかじめ設定した評価指標による、実績評価を行う。なお、評価は、設定された指標に係る進捗度合、向上度合に基づいて行うことを基本。
- ◇ 上記を踏まえ、評価結果を予算配分に反映。

【評価指標（考えられる評価の観点や評価指標）の例】

評価指標については、文部科学省が三つの枠組みごとに、あらかじめ示した複数の指標から、取組構想に応じた指標を各大学が選択し設定するとともに、各大学の取組構想に応じた大学独自の指標を設定する。なお、「地域活性化・特定分野の重点支援を行う大学」については、下記①・②の観点の例を組み合わせ設定することができる。詳細については、更に検討。

※専門分野の特性を踏まえる観点から、可能なものは、学部・研究科等の単位で、状況を求めることも検討。

①「地域活性化」に係る指標の例

* 地域のニーズを捉えた人材育成を行っているか

- ・ 地域内の企業等への就職状況
- ・ 地域内の企業等へ就職した卒業生の就職先での評価の状況
- ・ 地域内の企業等への長期インターンシップ（3か月以上）の実施状況

* 産学連携活動を通じた地域活性化を積極的に行っているか

- ・ 地域内の企業等との共同研究の実施状況
- ・ 地域内の企業等からの受託研究の実施状況
- ・ 地域内の企業等との産学連携を促進させるための組織的な取組状況

* 地域における新たな産業の創出を図っているか

- ・ 地域内の大学発ベンチャーの設立、活動状況
- ・ 地域との対話の場の設定や協定による取組の実施状況 など

②「特定分野の教育研究」に係る指標の例

* 特定分野の教育が充実しているか

- ・ 特定分野の企業等への就職状況
- ・ 特定分野の企業等へ就職した卒業生の就職先での評価の状況

* 特定分野の研究が充実しているか

- ・ 特定分野の論文数・論文の被引用数の状況（教員一人あたり）
- ・ 特定分野の研究成果に基づく受賞状況（学術賞、学会賞、芸術・文化賞、出版賞等）
- ・ 特定分野の企業等との共同研究の実施状況
- ・ 特定分野の企業等からの受託研究の実施状況

* 国際的な存在感を高める研究を実施しているか

- ・ 特定分野の国際共著論文の状況
- ・ 特定分野の外国の大学や研究機関等との共同・受託研究の状況

* 特定分野の社会貢献が充実しているか

- ・ 特定分野の大学発ベンチャーの設立、活動状況
- ・ 特定分野の知財の実用化の状況
- ・ 特定分野の産学連携を促進させるための組織的な取組状況 など

③「世界水準の教育研究」に係る指標の例

*全学的に国際レベルの質の高い教育を行っているか

- ・大学院生に占める特別研究員（DC）の採用状況
- ・大学院生の外国の大学や研究機関、外国企業への長期派遣状況
- ・外国人留学生の状況（※学位取得を目的とした留学生）
- ・教員に占める特別研究員（PD、SPD）・海外特別研究員の採用状況
- ・厳格な博士学位審査体制の状況
- ・安定的な研究職等への就職状況

*世界水準の研究を実施しているか

- ・論文数・論文の被引用の状況（教員一人あたり）
- ・質の高い論文の状況
- ・企業等との1千万円以上の共同研究の実施状況
- ・企業等からの1千万円以上の受託研究の実施状況

*国際的な存在感を高める研究を実施しているか

- ・国際共著論文の状況
- ・外国の大学や研究機関等との共同・受託研究の状況

*イノベーションを創出する機能が充実しているか

- ・大学発ベンチャーの設立、活動状況
- ・知財の実用化の状況
- ・企業等との特許の共同出願状況

*世界水準の教職員体制を構築しているか

- ・外国籍・外国の大学で学位を取得した教職員の状況
- ・国際通用性を見据えた人事評価制度の導入・活用

など

2. 学長の裁量による経費に基づく活動等による実績評価

【評価手法（進捗状況の確認・実績評価）】

- ◇ 本経費は、学長の裁量による経費を活用した様々な取組による業務運営の改善や教育研究活動の活性化を目的とすることから、経費の活用状況とあわせて、その活用による業務運営の改善や教育研究活動等による実績を評価するもの。
- ◇ 文部科学省は、有識者の意見を踏まえつつ、学長のビジョンに基づく取組状況（学長の裁量による経費の活用状況とその活用も含めた学内の取組状況）を、2年終了ごとに取組状況を確認。
- ◇ 上記を踏まえ、評価結果を、予算配分に反映。

【評価指標（考えられる評価の観点や評価指標）の例】

評価指標については、全大学に共通するものとして設定。詳細については、更に検討。

※専門分野の特性を踏まえる観点から、可能なものは、学部・研究科等の単位で、状況を求めることも検討。

◇Institutional Research が充実していて、活用できているか

- ・大学の長期的ビジョンの有無
- ・長期的ビジョンを実現するためのエビデンスに基づいた計画の状況
- ・大学本部による各部局の全予算・人的資源の把握状況
- ・間接経費の本部での戦略的利用の状況
- ・教育研究組織等の必要性についての検証と見直し状況

◇教職員の資質向上のための取組がなされているか

- ・全教員対象の教育面の業績評価の取組状況
- ・対象者に占めるFD及びSDへの参加者の状況

◇財源の多元化を図っているか

- ・多様な資金調達による自己収入増加に向けた取組状況

◇学生が学びやすい環境となっているか

- ・障害のある学生など多様な学生に対する支援の取組状況
- ・学生からの施設（図書館、研究施設、IT設備等）の評価の状況

◇教育の質保証に取り組んでいるか

- ・学生数/教員数
- ・科目番号制（ナンバリング）の導入状況
- ・アクティブラーニング型授業の実施状況
- ・学修時間の確保・増加、学修成果の可視化の状況

◇ステークホルダーへの情報公開が徹底されているか

- ・就職率、進路状況等の情報公開の状況
- ・就職実績と卒業生の就職先での評価の把握状況

◇研究成果を最大化するような学内体制になっているか

- ・URA等の研究マネジメント人材の配置・業務実施状況及び学内への周知状況

◇教員が研究に積極的に取り組んでいるか

- ・科学研究費補助金の申請状況

◇年齢構成に配慮した教員体制か

- ・テニユアポストに占める若手教員の状況

◇社会貢献を行うことができる体制となっているか

- ・ステークホルダーのニーズの大学運営への反映状況

◇人事給与システム改革を推進しているか

- ・年俸制の実施の状況
- ・クロスアポイントメント制度の活用の状況